

クリーンアップ調査及びフォローアップ調査結果概要

1 調査範囲

本調査の調査範囲及び調査枠の設置位置を図 1 に示す。調査範囲は、石垣島の吉原海岸～米原海岸及び西表島の住吉～星砂の浜～上原海岸である。

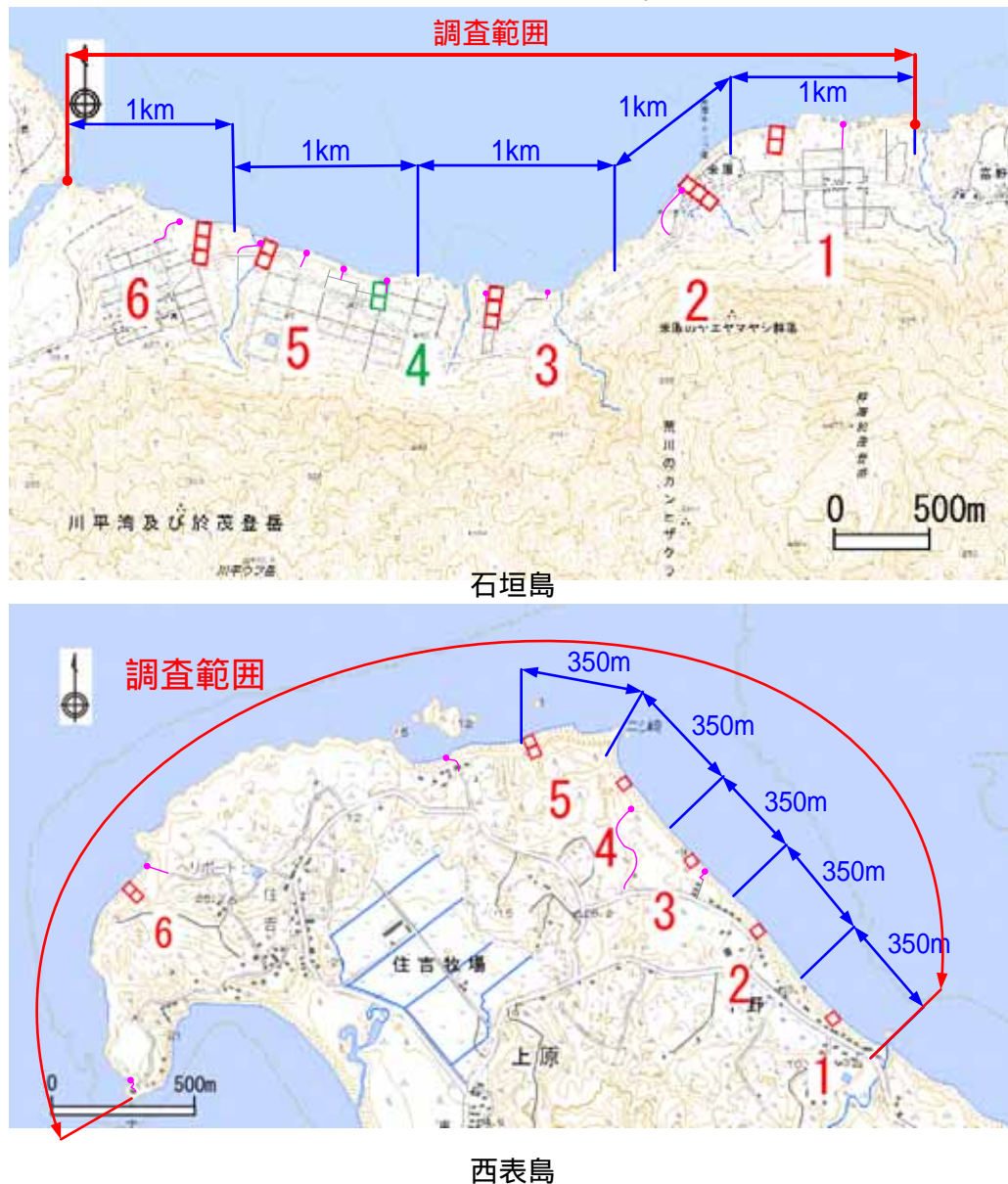


図 1 調査範囲及び調査枠の設置位置 (が調査枠の位置を示す)

1.1 共通調査の調査範囲 (枠の設置)

共通調査は、定点に 10m 四方の調査枠 (コドラート) を設置し、枠内の漂着ゴミの回収・分類を定期的に行う調査である。本調査では、浜の形状や漂着ゴミの量などを考慮して図 1 に示した石垣島及び西表島それぞれ 6 点に調査枠を設置した。各地点における調査枠の設置状況を図 2 に、設置した枠の大きさを表 1 に示す。

また、汀線側の枠には漂着ゴミの空間分布を把握するため、2m 四方の調査枠を複数個設置した (図 3)。



石垣島 調査地点 1



石垣島 調査地点 2

図 2 調査枠設置点 (海岸の写真は 2007/10/11 撮影)



石垣島 調査地点 3



石垣島 調査地点 4

図 2 調査枠設置点 (海岸の写真は 2007/10/11 撮影) (つづき)



石垣島 調査地点 5



石垣島 調査地点 6

図 2 調査枠設置点 (海岸の写真は 2007/10/11 撮影) (つづき)



西表島 調査地点 1



西表島 調査地点 2

図 2 調査枠設置点 (海岸の写真は 2007/10/11 撮影) (つづき)



西表島 調査地点 3



西表島 調査地点 4

図 2 調査枠設置点 (海岸の写真は 2007/10/11 撮影) (つづき)



西表島 調査地点 5



西表島 調査地点 6

図 2 調査枠設置点 (海岸の写真は 2007/10/11 撮影) (つづき)

表 1 調査枠の大きさ

石垣島

枠の名称	一枠目	二枠目	三枠目
1	10m × 10m	8m × 10m	-
2	10m × 10m	10m × 10m	7m × 10m
3	10m × 10m	10m × 10m	(短辺 5m 長辺 7.5m) × 10m の台形
4	10m × 10m	5m × 10m	-
5	10m × 10m	10m × 10m	-
6	10m × 10m	10m × 10m	(短辺 5m 長辺 8m) × 10m の台形

西表島

枠の名称	一枠目	二枠目	三枠目
1	6m × 10m	4m × 10m の三角形	-
2	10m × 10m	2m × 10m	-
3	6m × 10m	1m × 10m	-
4	10m × 10m	3m × 10m	-
5	10m × 10m	(短辺 6m 長辺 9m) × 10m の台形	-
6	10m × 10m	10m × 10m	-

特に記述のない枠は正方形である。

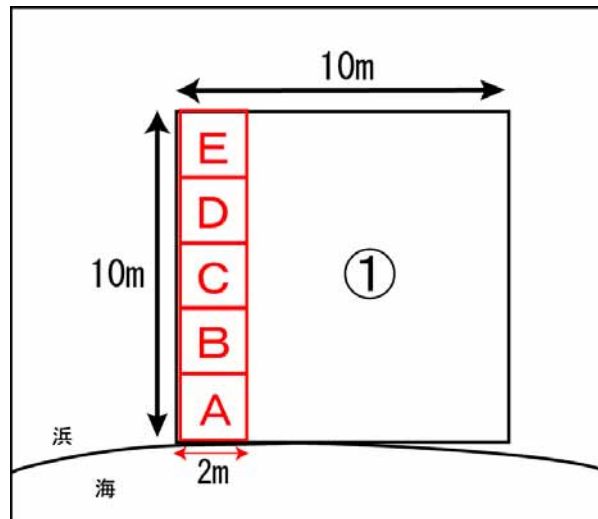


図 3 2m 枠の設置例



調査地点 1



調査地点 2



調査地点 3



調査地点 4



調査地点 5



調査地点 6

図 4 調査枠の設置例(石垣島)



調査地点 1



調査地点 2



調査地点 3



調査地点 4



調査地点 5



調査地点 6

図 5 調査枠の設置例（西表島）

1.2 独自調査の調査範囲

独自調査の範囲は、調査範囲の中で満潮、干潮時を問わず人力でアクセス及び回収作業を安全に行うことができる浜とした。選定した範囲を図 6 に示す。調査対象から除外した海岸は、岩壁で浜が発達していない海岸、船でしかアクセスできない海岸である。

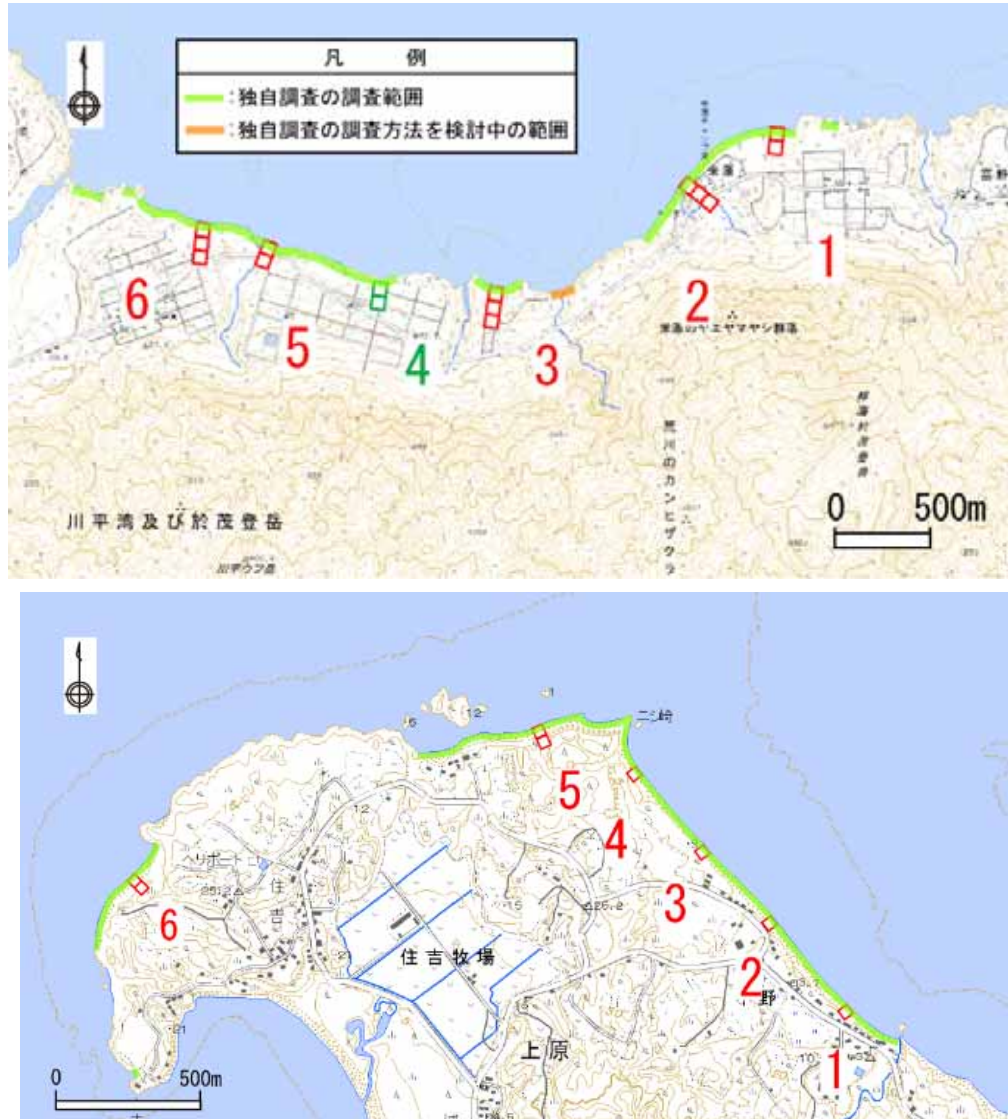


図 6 独自調査の範囲 (上：石垣島 下：西表島)

2 調査日程

2.1 第4回クリーンアップ調査

沖縄県における第4回クリーンアップ調査の実施日を表2に示す。

表2 沖縄県における第4回クリーンアップ調査の実施日

石垣島調査		4/1(火)	4/2(水)	4/3(木)	4/4(金)	4/5(土)	4/6(日)		
		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目		
共通調査									
移動・準備									
調査実施									
独自調査									
準備									
調査実施									
撤収・移動									
西表島調査		4/7(月)	4/8(火)	4/9(水)	4/10(木)	4/11(金)	4/12(土)	4/13(日)	4/14(月)
		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	9日目
共通調査									
移動・準備									
調査実施									
独自調査									
準備									
調査実施									
運搬準備									
撤収・移動									

注：西表島の独自調査の実施予定は4/12～4/13であったが、4/11にウナリ崎～ミミキリの浜の範囲を先行して実施した。

3 調査体制

第4回クリーンアップ調査の調査体制は次の通りであった。

(1) 共通調査

調査指揮：日本エヌ・ユー・エス（株） 2人

調査協力：（株）環境総合テクノス 1人

作業員：石垣島 3人（地域住民）

西表島 7～8人（西表島エコツーリズム協会会員）

(2) 独自調査

調査指揮：日本エヌ・ユー・エス（株） 2名

調査協力：（株）環境総合テクノス 1名

作業員は地元住民から募集した。作業員数は以下のとおりである。石垣島の調査では関係地区の住民が主であり、西表島の調査では関係地区を中心に東部から船浮まで幅広い応募があった。

表3 沖縄県における第4回クリーンアップ調査（独自調査）の作業員数

	石垣島				西表島	
	吉原地区		米原地区		AM	PM
	AM	PM	AM	PM		
1日目	25	25	-	-	21	21
2日目	-	-	13	13	18	20
合計	25	25	13	13	39	41

注：西表島では、独自調査開始日の前日に作業員8名でウナリ崎～ミミキリの浜の範囲を先行して調査した。

4 調査結果（共通調査）

4.1 種類別集計結果

石垣島 6 地点及び西表島 6 地点の調査枠における漂着ゴミの分類結果を図 8、図 9、図 10、図 11及び表 4、表 5、表 6、表 7に示した。なお、各調査地点の詳細な分類結果は、資料編にとりまとめた。

回収したゴミの集計方法は、調査枠の海岸方向（1～6）と内陸方向（A～E、 ）とした。海岸方向の集計は、調査枠番号ごとに集計した数値を 100 m²に換算して示した。また、内陸方向の集計では、 の面積が、2m 枠（A～E）より大きいため、2 m 枠と同じ 4 m²に換算し、2m 枠（A～E）1 個あたりに換算して示した。

なお、集計結果は、重量（kg）と容量（ℓ）の 2 通り示した。

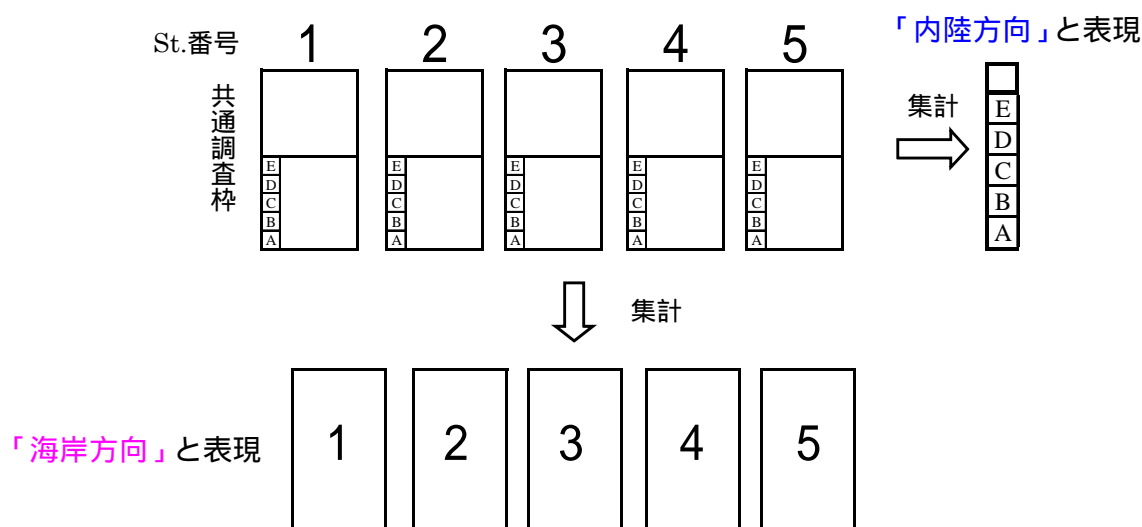


図 7 集計方法イメージ（沖縄県）

4.1.1 海岸方向の集計

海岸方向の漂着ゴミの単位面積容量（ℓ/100 m²）及び単位面積重量（kg/100 m²）を、それぞれ図 8および図 9に示した。

(1)石垣島

海岸方向の単位面積容量は、2.4 ℓ/100 m²～165 ℓ/100 m²であり、6 枠で最も多く、1 枠で最も少なかった。各調査枠の単位面積容量に占める割合の最も大きかったものは、1 枠、4 枠では生物系漂着物（流木・灌木）、2 枠では金属類、3 枠、6 枠ではプラスチック類、5 枠では生物系漂着物（海藻）であった。

海岸方向の単位面積重量は、0.9 kg/100 m²～38.6 kg/100 m²であり、6 枠が最も多く、1 枠で最も少なかった。各調査枠の単位面積重量に占める割合の最も大きかったものは、1 枠ではガラス・陶磁器類、2 枠では金属類、3 枠、6 枠ではプラスチック類、4 枠では生物系漂着物（流木・灌木）、5 枠ではその他の人工物であった。

(2)西表島

海岸方向の漂着ゴミの単位面積容量は、0.5 ℓ/100 m²～164.6 ℓ/100 m²であり、3 枠で最も多く、6 枠で最も少なかった。各調査枠の単位面積容量に占める割合の最も大きかったものは、1 枠、2 枠、5 枠、6 枠では生物系漂着物（流木・灌木）、3 枠ではその他の人工物、

4 枠ではプラスチック類であった。

海岸方向の漂着ゴミの単位面積重量は、 $0.2 \text{ kg}/100 \text{ m}^2 \sim 77 \text{ kg}/100 \text{ m}^2$ であり、3 枠で最も多く、6 枠で最も少なかった。各調査枠の単位面積重量に占める割合の最も大きかったものは、1～5 枠では生物系漂着物（流木・灌木）、6 枠ではその他の人工物であった。

4.1.2 内陸方向の集計

内陸方向の漂着ゴミの単位面積容量（ $\ell/4 \text{ m}^2$ ）及び単位面積重量（ $\text{kg}/4 \text{ m}^2$ ）を、それぞれ図 10および図 11に示した。

(1)石垣島

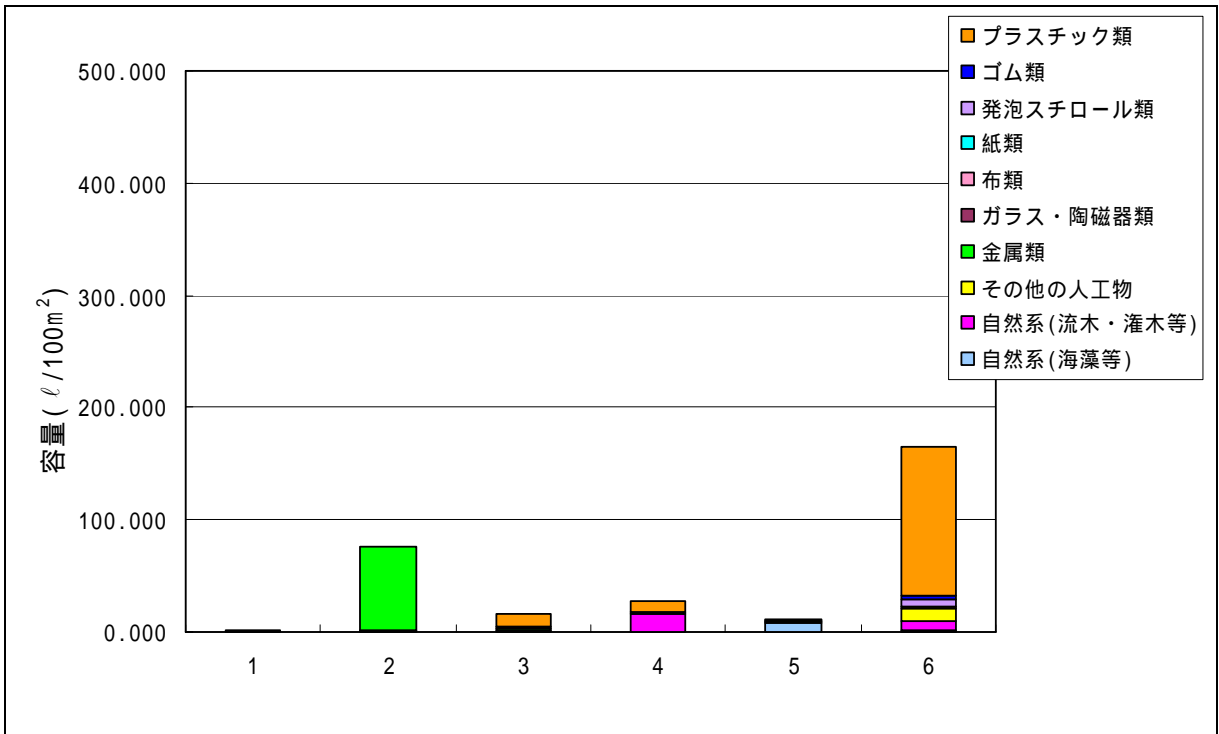
内陸方向の漂着ゴミの単位面積容量は、 $0.086 \ell/4 \text{ m}^2 \sim 5.4 \ell/4 \text{ m}^2$ であり、B 枠で最も多く、枠で最も少なかった。各調査枠の単位面積容量に占める割合が最も大きかったものは、A 枠、D 枠ではプラスチック類、B 枠では生物系漂着物（流木・灌木）、C 枠では生物系漂着物（海藻）、E 枠、枠では発泡スチロール類、枠では金属類であった。

内陸方向の漂着ゴミの単位面積重量は、 $0.03 \text{ kg}/4 \text{ m}^2 \sim 1.8 \text{ kg}/4 \text{ m}^2$ であり、B 枠で最も多く、枠で最も少なかった。各調査枠の総単位面積重量に占める割合が最も大きかったものは、A 枠、C 枠、D 枠ではプラスチック類、B 枠、E 枠、枠では生物系漂着物（流木・灌木）、枠では、金属類であった。

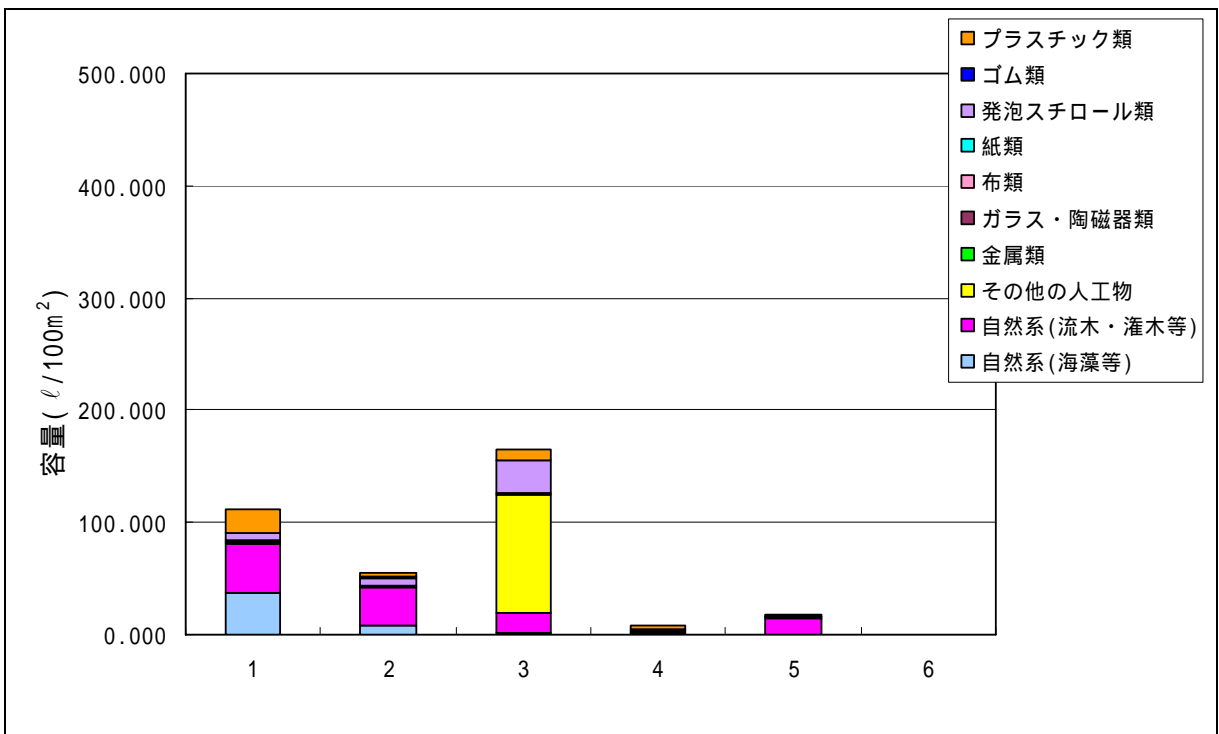
(2)西表島

内陸方向の漂着ゴミの単位面積容量は、 $0.4 \ell/4 \text{ m}^2 \sim 5 \ell/4 \text{ m}^2$ であり、A 枠で最も多く、E 枠で最も少なかった。各調査枠の総単位面積容量に占める割合が最も大きかったものは、A 枠、B 枠、D 枠、E 枠、枠では生物系漂着物（流木・灌木）、C 枠では発泡スチロール類であった。

内陸方向の漂着ゴミの単位面積重量は、 $0.07 \text{ kg}/4 \text{ m}^2 \sim 1.1 \text{ kg}/4 \text{ m}^2$ であり、A 枠で最も多く、C 枠で最も少なかった。各調査枠の総単位重量に占める割合が最も大きかったものは、A 枠、B 枠、D 枠、E 枠、枠では生物系漂着物（流木・灌木）、C 枠では発泡スチロール類であった。



石垣島



西表島

図 8 種類別単位面積容量の集計結果（海岸方向）

表 4 種類別単位面積容量の集計結果（海岸方向）

石垣島

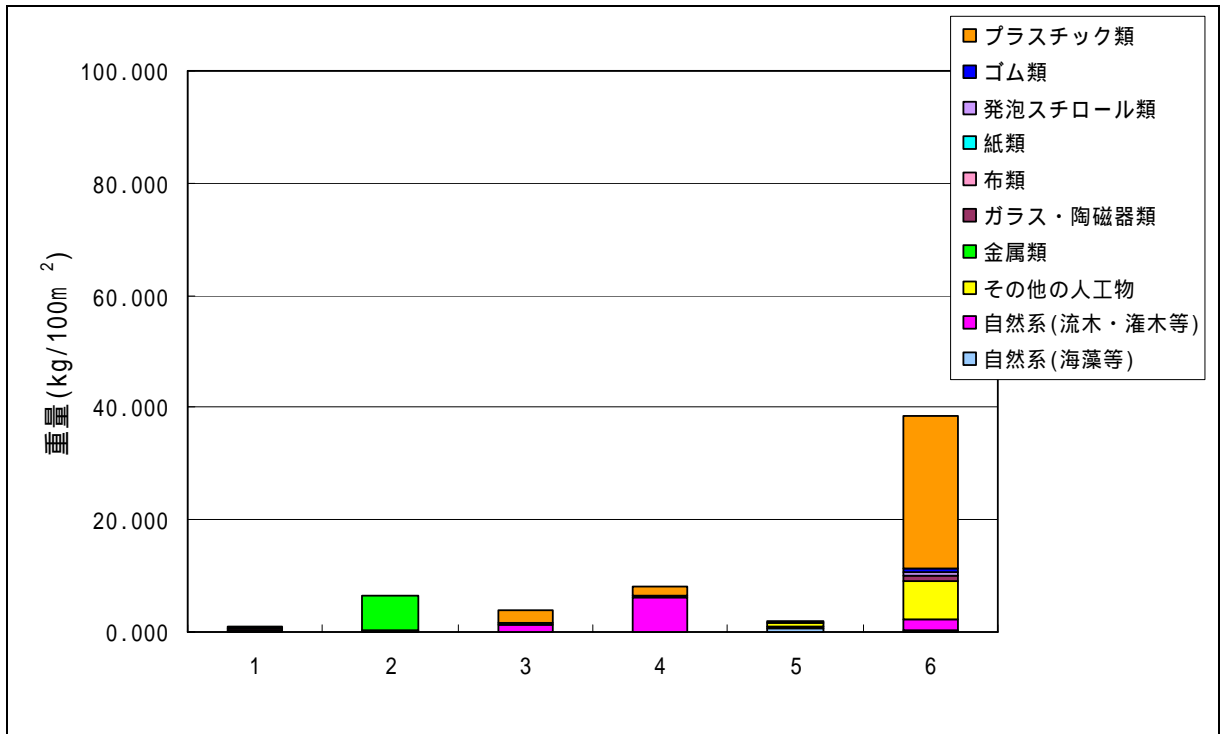
分類項目	1	2	3	4	5	6
プラスチック類	0.312	0.195	11.036	10.696	0.898	133.349
ゴム類	0.105	0.177	0.002	0.600	0.100	1.891
発泡スチロール類	0.528	0.011	2.005	1.199	1.052	7.629
紙類		0.001			0.004	0.002
布類		0.009	0.000		0.010	0.043
ガラス・陶磁器類	0.529	0.013	0.145	0.025	0.013	1.388
金属類	0.008	73.686	0.200	0.003		0.404
その他の人工物	0.015	0.038	0.400	0.142	0.750	10.984
自然系(流木・灌木等)	0.837	1.253	1.004	15.570	0.865	7.469
自然系(海藻等)	0.057	0.556	0.846	0.069	7.830	1.804
容量合計($l/100m^2$)	2.391	75.939	15.639	28.305	11.522	164.963
回収面積(m^2)	190.0	285.0	250.0	150.0	200.0	245.0

注) 0.000は、0.0005未満を示す。空欄は、確認されなかったことを示す。

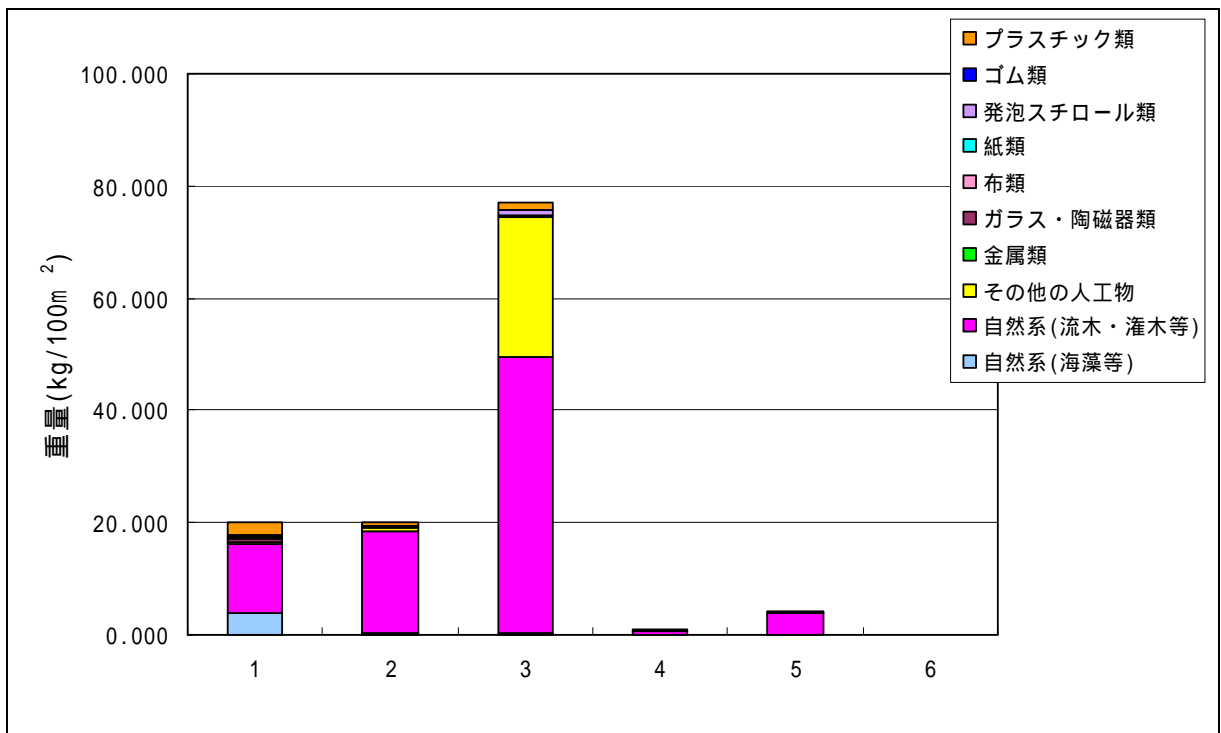
西表島

分類項目	1	2	3	4	5	6
プラスチック類	19.766	3.822	9.830	3.009	0.553	0.015
ゴム類	0.444	0.176			0.156	
発泡スチロール類	6.769	7.783	28.875	2.165	2.216	
紙類	1.250			0.005	0.000	
布類	0.000					
ガラス・陶磁器類	1.150	0.287	0.906	0.773	0.031	
金属類		0.004	0.438			0.001
その他の人工物	0.623	1.191	104.855	0.032	0.000	0.213
自然系(流木・灌木等)	43.313	34.217	18.313	1.669	14.688	0.275
自然系(海藻等)	37.725	7.435	1.431	0.425		
容量合計($l/100m^2$)	111.039	54.915	164.648	8.079	17.643	0.503
回収面積(m^2)	80.0	115.0	80.0	130.0	160.0	200.0

注) 0.000は、0.0005未満を示す。空欄は、確認されなかったことを示す。



石垣島



西表島

図 9 種類別単位面積重量の集計結果 (海岸方向)

表 5 種類別単位面積重量の集計結果（海岸方向）

石垣島

分類項目	1	2	3	4	5	6
プラスチック類	0.139	0.017	2.003	1.672	0.186	27.267
ゴム類	0.093	0.031	0.001	0.124	0.068	0.671
発泡スチロール類	0.025	0.000	0.044	0.059	0.015	0.649
紙類		0.000			0.000	0.000
布類		0.015	0.000		0.002	0.010
ガラス・陶磁器類	0.381	0.014	0.200	0.037	0.020	0.881
金属類	0.001	6.141	0.050	0.007		0.057
その他の人工物	0.007	0.014	0.278	0.042	0.750	6.953
自然系(流木・灌木等)	0.259	0.290	1.080	6.045	0.217	1.974
自然系(海藻等)	0.022	0.047	0.070	0.005	0.744	0.185
重量合計(kg/100m ²)	0.927	6.570	3.725	7.991	2.001	38.649
回収面積(m ²)	190.0	285.0	250.0	150.0	200.0	245.0

注) 0.000は、0.0005未満を示す。空欄は、確認されなかったことを示す。

西表島

分類項目	1	2	3	4	5	6
プラスチック類	2.289	0.761	1.389	0.295	0.038	0.003
ゴム類	0.220	0.024			0.114	
発泡スチロール類	0.319	0.150	0.734	0.072	0.039	
紙類	0.049			0.001	0.000	
布類	0.000					
ガラス・陶磁器類	0.882	0.215	0.515	0.151	0.037	
金属類		0.001	0.021			0.002
その他の人工物	0.239	0.598	24.767	0.034	0.000	0.097
自然系(流木・灌木等)	12.161	18.126	49.072	0.502	3.878	0.059
自然系(海藻等)	3.990	0.274	0.481	0.021		
重量合計(kg/100m ²)	20.149	20.149	76.980	1.075	4.106	0.161
回収面積(m ²)	80.0	115.0	80.0	130.0	160.0	200.0

注) 0.000は、0.0005未満を示す。空欄は、確認されなかったことを示す。

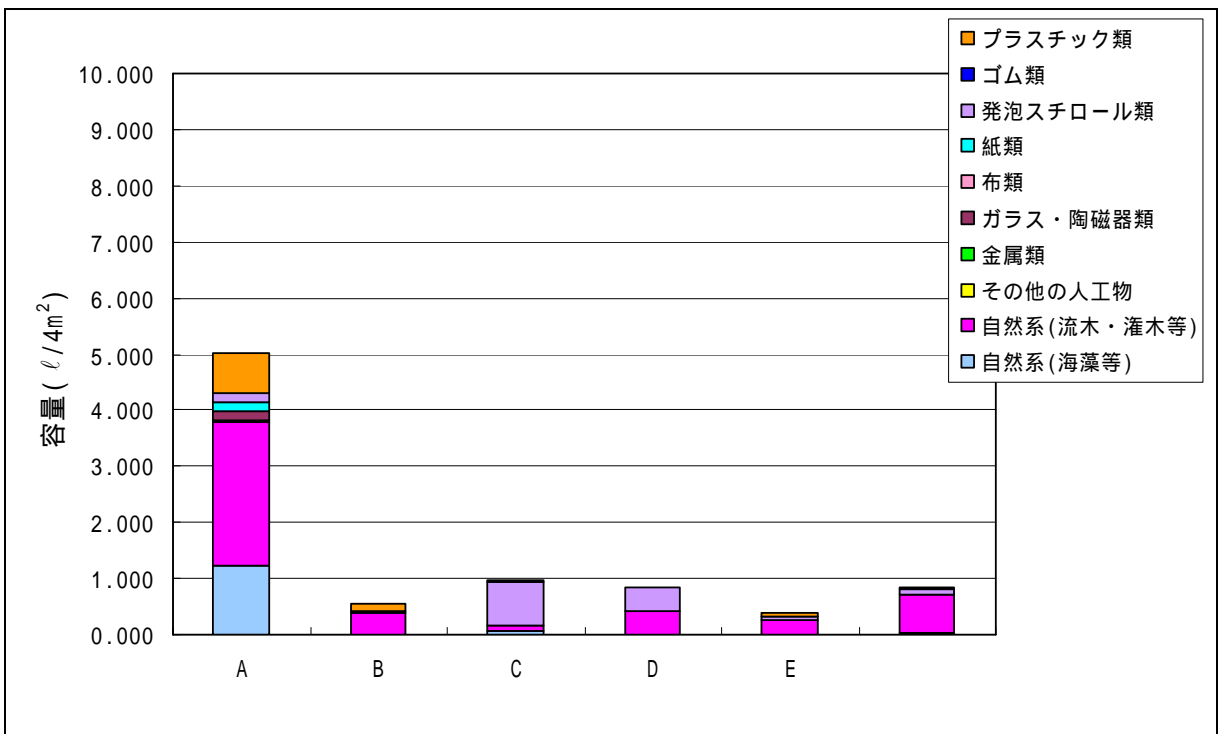
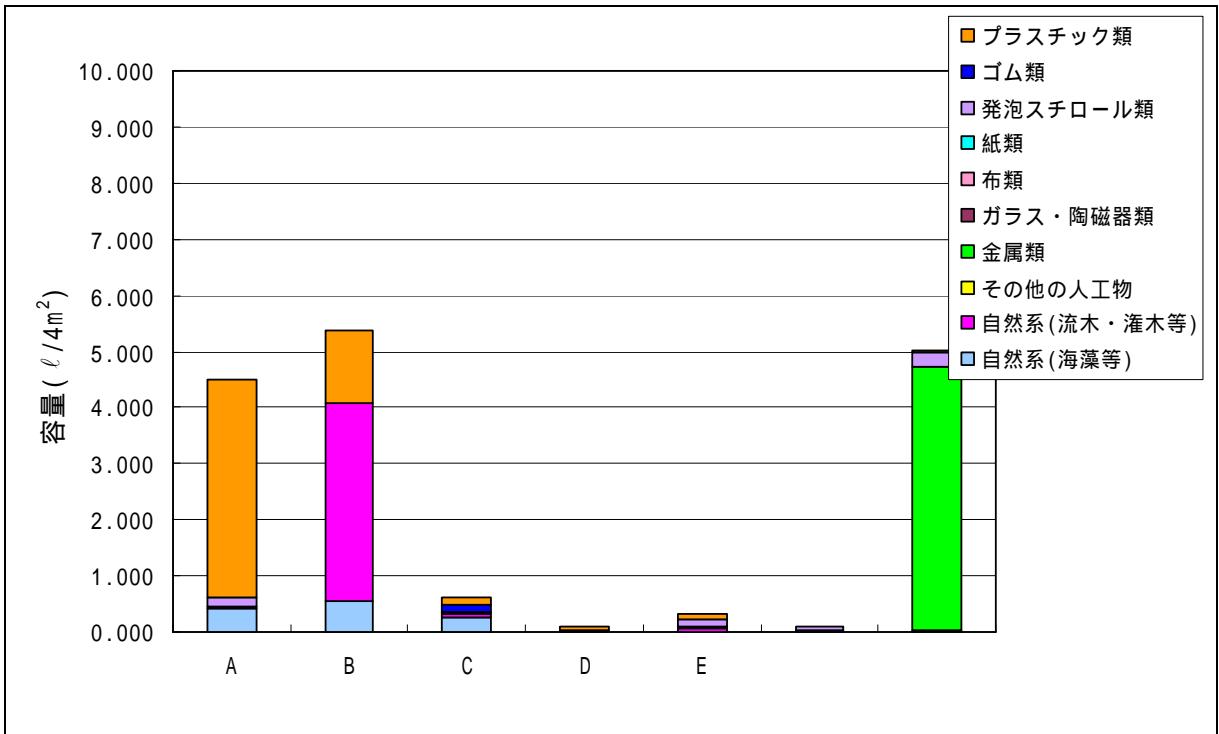


図 10 種類別単位面積容量の集計結果(内陸方向)

表 6 種類別単位面積容量の集計結果（内陸方向）

石垣島

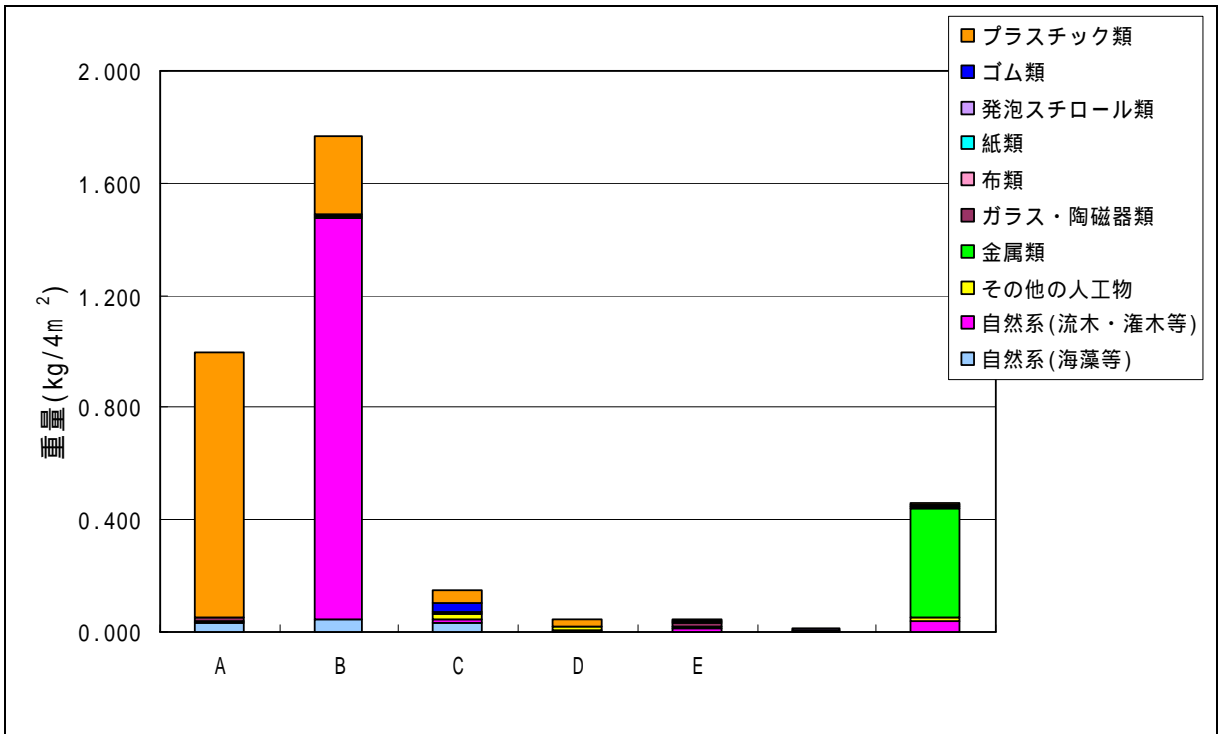
分類項目	A	B	C	D	E		
プラスチック類	3.872	1.295	0.117	0.055	0.097	0.020	0.031
ゴム類		0.017	0.117	0.000			0.002
発泡スチロール類	0.167	0.001	0.004	0.000	0.134	0.062	0.244
紙類	0.000		0.001			0.000	0.000
布類						0.000	0.000
ガラス・陶磁器類	0.004	0.003	0.002	0.002	0.005		0.006
金属類	0.000	0.000	0.001	0.002		0.001	4.678
その他の人工物	0.001	0.001	0.020	0.008	0.034		0.014
自然系(流木・灌木等)	0.027	3.522	0.083	0.016	0.062	0.019	0.033
自然系(海藻等)	0.420	0.546	0.254	0.002	0.003		0.000
容量合計(ℓ/4m ²)	4.490	5.384	0.599	0.086	0.334	0.125	4.987
回収面積(m ²)	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	540.0	180.0

注) 0.000は、0.0005未満を示す。空欄は、確認されなかったことを示す。

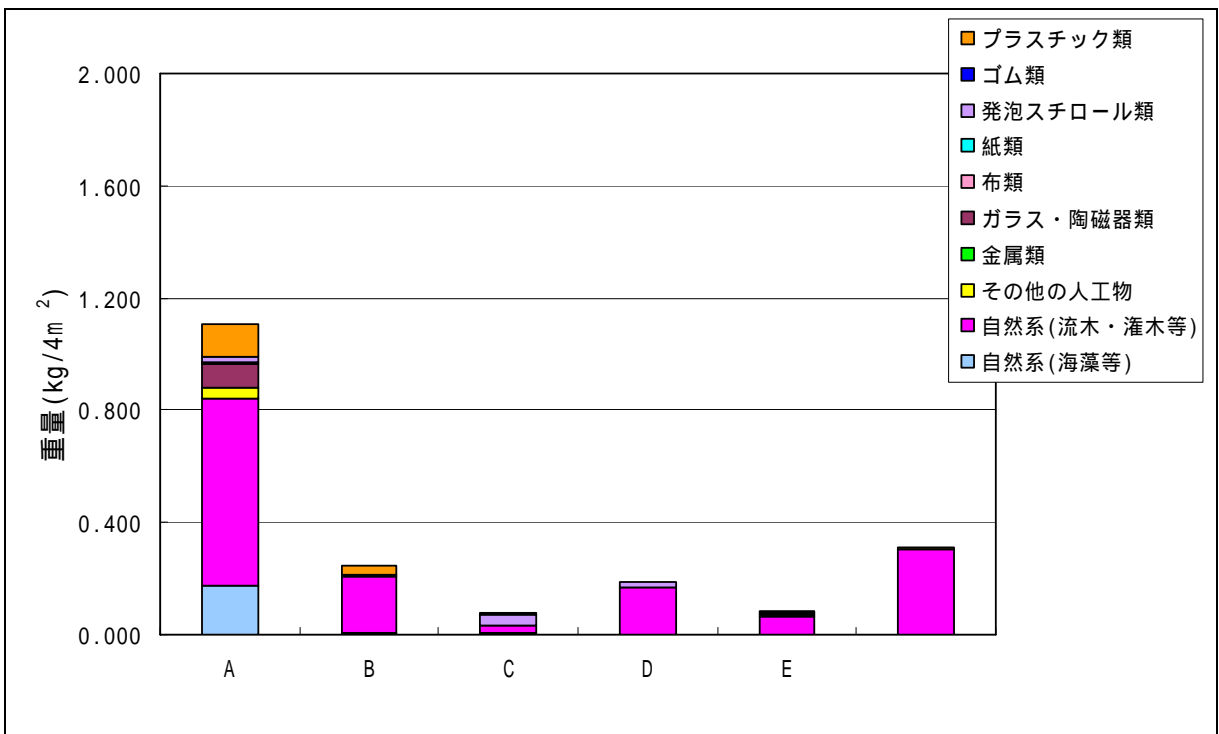
西表島

分類項目	A	B	C	D	E		
プラスチック類	0.702	0.153	0.024	0.006	0.069		0.019
ゴム類							
発泡スチロール類	0.176	0.009	0.772	0.412	0.079		0.099
紙類	0.167	0.001					0.000
布類		0.000					
ガラス・陶磁器類	0.139	0.001			0.005		0.002
金属類							0.000
その他の人工物	0.057	0.010					0.007
自然系(流木・灌木等)	2.550	0.378	0.100	0.422	0.250		0.671
自然系(海藻等)	1.228	0.013	0.067	0.007			0.033
容量合計(ℓ/4m ²)	5.019	0.565	0.962	0.848	0.403		0.832
回収面積(m ²)	24.0	24.0	24.0	16.0	16.0		245.0

注) 0.000は、0.0005未満を示す。空欄は、確認されなかったことを示す。



石垣島



西表島

図 11 種類別単位面積重量の集計結果（内陸方向）

表 7 種類別単位面積重量の集計結果（内陸方向）

石垣島

分類項目	A	B	C	D	E		
プラスチック類	0.940	0.280	0.043	0.022	0.007	0.003	0.007
ゴム類		0.006	0.033	0.000			0.000
発泡スチロール類	0.004	0.000	0.000	0.000	0.003	0.004	0.005
紙類	0.000		0.000			0.000	0.000
布類						0.000	0.001
ガラス・陶磁器類	0.010	0.006	0.010	0.002	0.010		0.004
金属類	0.000	0.001	0.000	0.001		0.000	0.392
その他の人工物	0.000	0.000	0.016	0.012	0.009		0.014
自然系(流木・灌木等)	0.005	1.429	0.013	0.004	0.012	0.005	0.037
自然系(海藻等)	0.035	0.049	0.033	0.001	0.001		0.000
重量合計(kg/4m ²)	0.994	1.770	0.149	0.042	0.043	0.030	0.441
回収面積(m ²)	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	540.0	180.0

注) 0.000は、0.0005未満を示す。空欄は、確認されなかったことを示す。

西表島

分類項目	A	B	C	D	E		
プラスチック類	0.120	0.034	0.004	0.001	0.006		0.001
ゴム類							
発泡スチロール類	0.015	0.001	0.038	0.019	0.003		0.002
紙類	0.007	0.000					0.000
布類		0.000					
ガラス・陶磁器類	0.085	0.000			0.007		0.002
金属類							0.000
その他の人工物	0.037	0.005					0.003
自然系(流木・灌木等)	0.670	0.205	0.026	0.164	0.068		0.302
自然系(海藻等)	0.174	0.004	0.007	0.002			0.003
重量合計(kg/4m ²)	1.108	0.249	0.075	0.186	0.083		0.313
回収面積(m ²)	24.0	24.0	24.0	16.0	16.0		245.0

注) 0.000は、0.0005未満を示す。空欄は、確認されなかったことを示す。

4.2 調査回別種類別集計結果

第1回調査（10月）～第4回調査（4月）における全共通調査枠（石垣島、西表島それぞれ6地点）の種類別単位面積容量及び重量の集計結果を図12に示す。

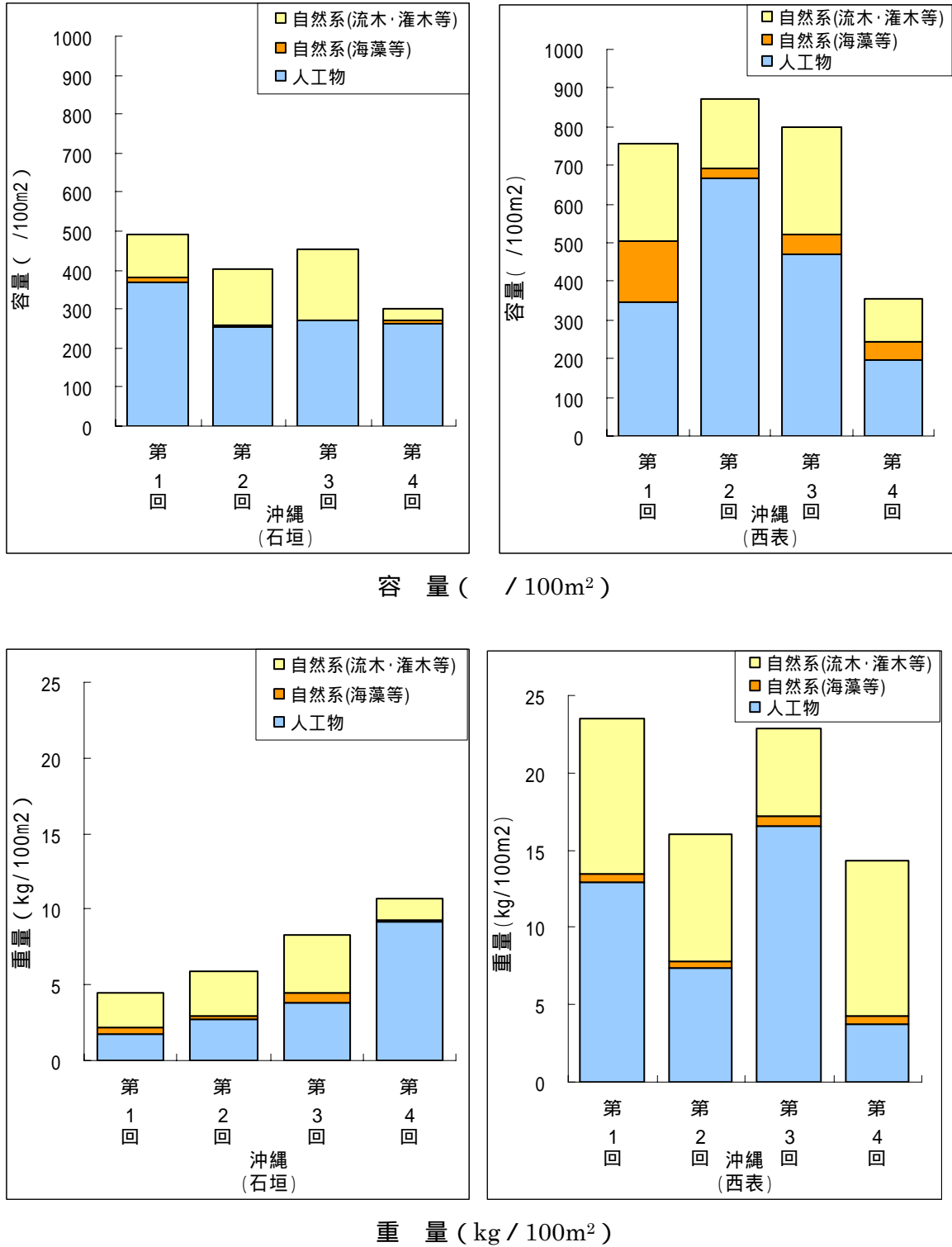


図12 第1～4回調査における種類別単位面積容量及び重量の集計結果

【調査時期】 第1回：10月下旬 第2回：12月中旬 第3回：2月中～下旬 第4回：4月上旬

4.3 ラベル表記言語による国別集計結果

共通調査枠内のゴミを対象に、ラベルに言語が表記されているゴミについて、国別に個数を集計した。対象としたゴミは、飲料用ペットボトル、ライター、飲料用缶(アルミニウム缶及びスチール缶)、漁業用ブイとした。なお、この分類は、ラベルに表記された言語により国別に分類したのであり、必ずしもゴミの発生した国と一致しないことに留意する必要がある。

4.3.1 石垣島

(1) ペットボトル

表記言語不明なものが31%を占めた。表記言語を確認できたものでは中国が61%で最も多く、次いで韓国の8%であった。

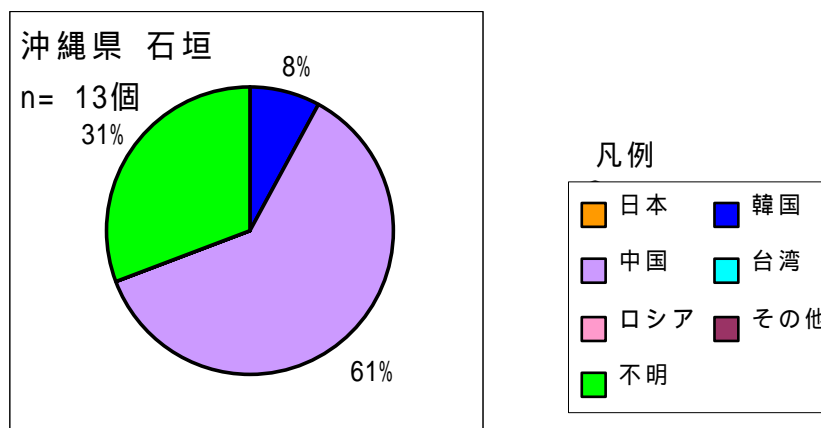


図 13 ラベル表記言語による国別集計結果 (第4回調査 石垣島：ペットボトル)

(2) 飲料缶

回収されたものは2個と少なく、表記言語を確認できたものは全て日本であった。

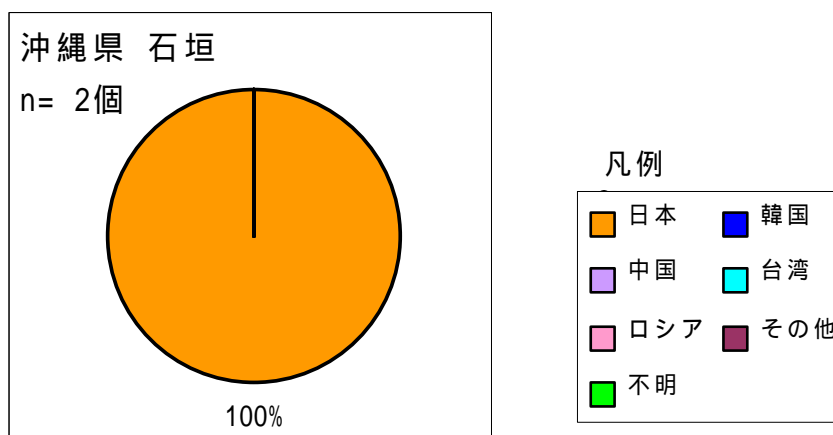


図 14 ラベル表記言語による国別集計結果 (第4回調査 石垣島：飲料用缶)

(3)ライター

表記言語不明なものが40%を占めた。表記言語を確認できたものは、中国が40%で最も多かった。

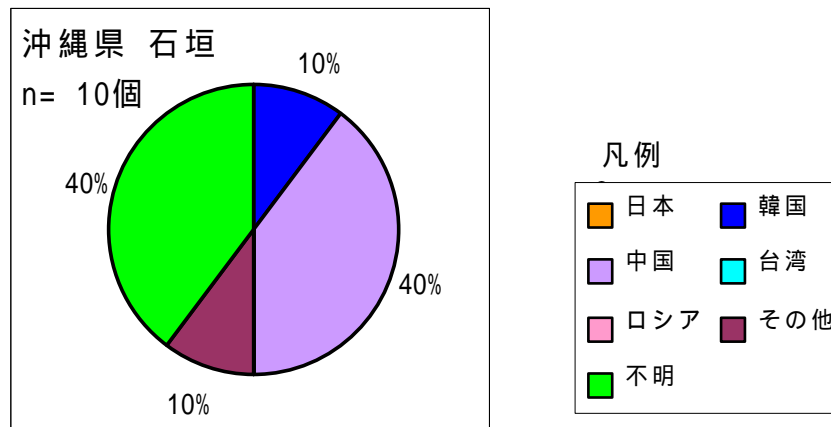


図 15 ラベル表記言語による国別集計結果（第4回調査 石垣島：ライター）

4.3.2 西表島

(1) ペットボトル

表記言語不明なものが13%を占めた。表記言語を確認できたものでは、中国が60%で最も多く、次いで韓国の20%であった。

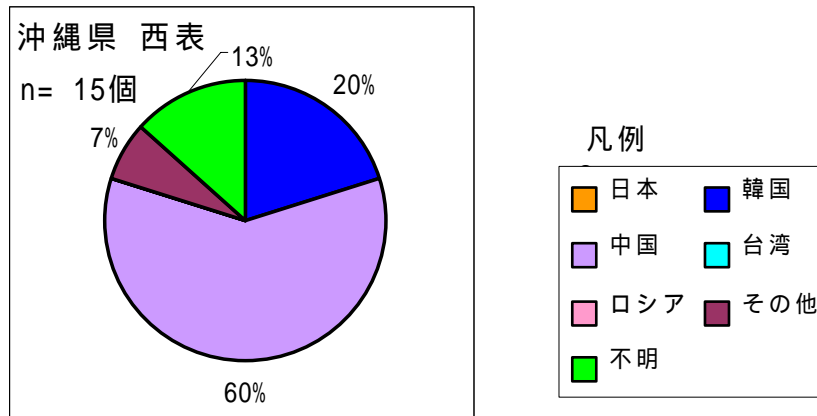


図 16 ラベル表記言語による国別集計結果（第4回調査 西表島：ペットボトル）

(2) 飲料用缶

回収されたものは1個だけであり、表記言語は確認できなかった。

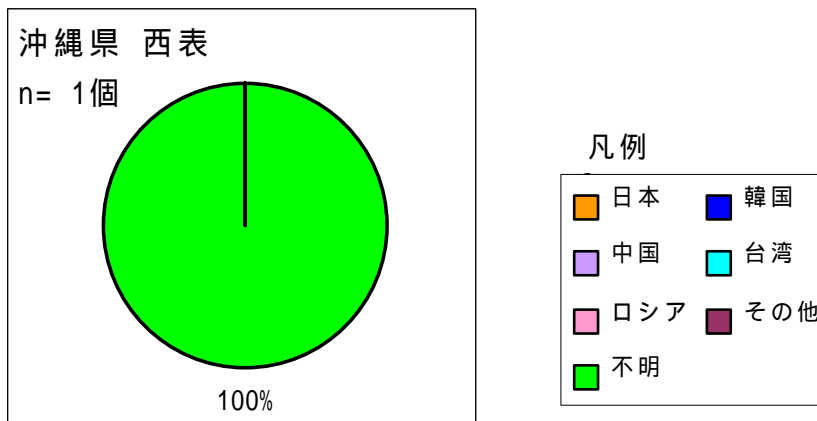


図 17 ラベル表記言語による国別集計結果（第4回調査 西表島：飲料用缶）

(3)ライター

回収されたものは3個と少なかった。表記言語を確認できたものはなかったが、中国あるいは台湾と考えられるものが回収された（図中のその他）。

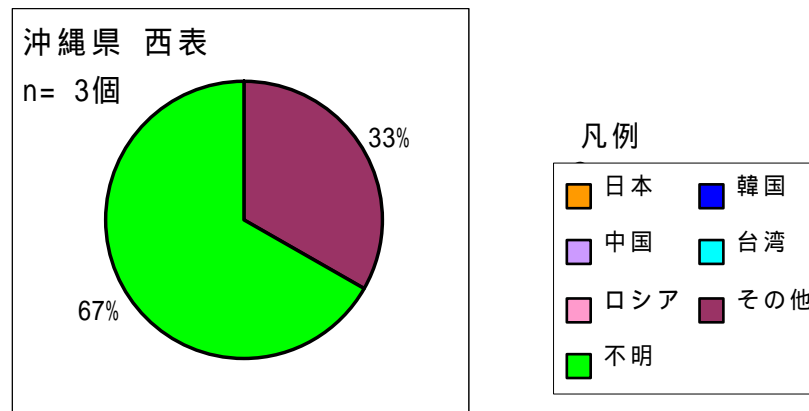


図 18 ラベル表記言語による国別集計結果（第4回調査 西表島：ライター）

5 独自調査

5.1 調査工程・区域の設定

石垣島、西表島の独自調査では、作業員を午前・午後に別けて募集し、設定した調査区域毎に回収、分別を実施した。以下図 19及び表 8に設定した調査区域と調査区域毎の調査実施状況を示す。

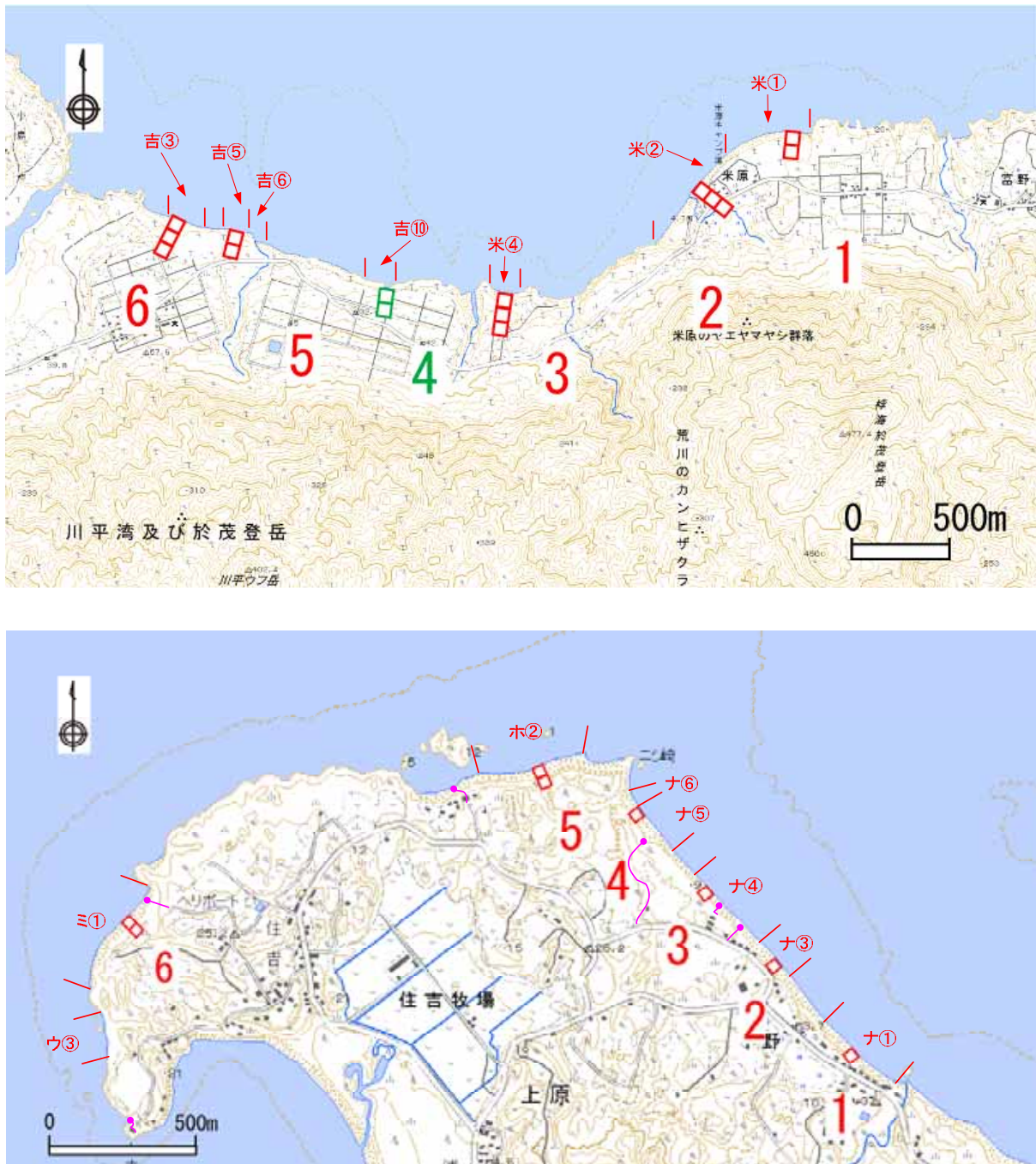


図 19 第 4 回独自調査における調査区域（上：石垣島 下：西表島）

表 8 第 4 回独自調査における調査区域と実施状況

	調査区域	範囲(m)	実施日	時間帯	調査員数	特記事項
石垣島 吉原地区	吉	140	4/4	PM	25	
	吉	170	4/4	AMPM	25	
	吉	60	4/4	PM	25	
	吉	140	4/4	AM	25	
石垣島 米原地区	米	760	4/5	AMPM	13	
	米	580	4/5	PM	13	
	米	166	4/5	AM	13	
西表島	ウ	105	4/9	AM	8	初めて調査を実施
西表島	ミ	350	4/10	AM	8	
西表島	ナ	350	4/13	AMPM	18~20	4/10PM廃油ボール事前回収
西表島	ナ	85	4/12	AM	21	4/10PM廃油ボール事前回収
西表島	ナ	320	4/12	AM	21	4/11PM廃油ボール事前回収
西表島	ナ	120	4/12	AM	21	4/10PM廃油ボール事前回収
西表島	ナ	50	4/12	AMPM	21	4/10PM廃油ボール事前回収
西表島	ホ	280	4/12	AM	21	4/11PM廃油ボール事前回収

5.2 回収と分別

漂着ゴミの回収・分別は、基本的に人力で行い、回収作業の補助にリヤカーを活用した。漂着ゴミは基本として発泡スチロール、ペットボトル、燃えるもの（木くずなど）、燃やさないもの（プラスチック片、ビン、カン等）の4種に分類しながら回収し、ビニール袋（約45）、土嚢袋（約20）、スタンドバッグ（約210）、フレコンバック（約1000）等に収納した。

漂着ゴミは回収した後に、石垣島、西表島それぞれの分別ルールに従って分別を行った。ゴミの分別ルールは石垣市、竹富町、産業廃棄物取扱業者と相談の上で設定した（表9）。

石垣島では人力で回収できない大きな流木については、チェーンソーで切断して運搬した。

人力による流木の回収は、人力で運搬車まで搬出が可能な大きさのものを対象とした。なお、流木については、人力による回収・搬出が困難な場合には未回収、あるいは陸揚げ等の流出防止措置を行った。

表9 ゴミ回収時及び分別時の区分

ゴミ回収時の区分（石垣島、西表島共通）	
発泡スチロール	
ペットボトル	
燃やすもの（木くず、紙くずなど）	
燃やさないものプラスチック、ビン、電球、缶など）	

ゴミ分別時の区分	
石垣島	西表島
ビン	木くず、紙くず
ペットボトル	ガラス、缶、電池、電球
缶類	水銀体温計
電球、電池、電子体温計	発泡スチロール
木くず、紙くず	ペットボトル
魚介類残さ	他プラスチック
発泡スチロール	鉄くず
他プラスチック	木材
鉄くず	繊維くず
木材	廃油ボール
繊維くず	
廃油ボール	



図 20 独自調査の状況（石垣島）

上：吉原地区で回収された漂着ゴミ 下：廃油入りのポリタンク



図 21 独自調査の状況（西表島）

上：回収作業 下：回収できない流木の陸揚げ作業

5.3 運搬・処分

石垣島の調査では、事業系一般廃棄物は石垣市クリーンセンター及び石垣市最終処分場へ、産業廃棄物は地元取扱業者の処分施設へそれぞれトラックを使用して運搬する。

西表島の調査では、事業系一般廃棄物は西表リサイクルセンターへトラックを使用して運搬し、産業廃棄物は石垣島へ船で運搬した後に石垣市の取扱業者の処分施設へトラックを使用して運搬する。

次ページに西表島、石垣島の独自調査におけるゴミ回収処理の流れを示す。